

Program

ベートーヴェン:

ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ヘ長調 op. 24「春」

シューベルト:

アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821 (ヴィオラ版)

モーツァルト:

ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 K.478

石井美映
(ピアノ)

石井美映と国際的名手たち

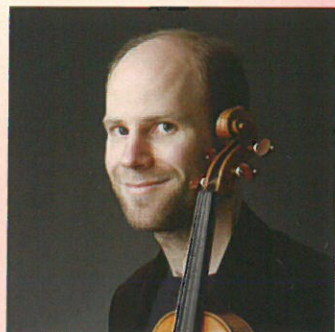
身近で味わう 楽都・ウィーンの薫風

2019年 2月 13日 (水) at MUSICASA

開演 19:00 (開場 18:30)

(小田急線・地下鉄千代田線 代々木上原駅東口より徒歩2分)

全席自由 4,000円 (税込)



クリストフ・エーレンフェルナー
(ヴァイオリン)



ヘルベルト・ミュラー
(ヴィオラ)



上村 文乃
(チェロ)

お申し込み・お問い合わせ 090-4726-1773 e-mail:piano7mie2@docomo.ne.jp

※未就学児は入場できません。

身近で味わう楽都・ウィーンの薫風

繊細で優美なピアニズムで定評あるピアニスト・石井美映が、
楽都・ウィーン一流奏者と催す絶美のアンサンブル。

この度もヨーロッパから若手のホープ・名チェリストの上村文乃が加わる。

曲目は、楽聖・ベートーヴェン、シューベルト、モーツァルトの名曲揃い。

長く心に残る夕べのひとつときになるだろう。

音楽プロデューサー 中野 雄

Profile



石井 美映 (ピアノ)

昭和音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。第 27 回ウィーン・インターナショナル・サマー・コースでエリカ・ディッヒラー教授に師事、ディプロマ取得。バーデンでの演奏会、シューベルトが受洗したリヒテンタール教会での終了演奏会に出演。東京オペラシティ・リサイタルホールに於ける参加者によるコンサートに出演。2003 年には、元ウィーン・フィル首席フルート奏者の故ウェルナー・トリップ氏から指導を受ける。2009 年より元ウィーン・フィル チェロ奏者の

アダルト・スコッチ氏とともにデュオリサイタルを来日毎に開催。2016 年からは指揮者・作曲家としても活躍するヴァイオリニストのクリストフ・エーレンフェルナー、ウィーン交響楽団首席ヴァイオリン奏者のヘルベルト・ミュラーの各氏と共に室内楽にも取り組んでいる。2017 年には浅草寺主催 仏教文化講座にて「名曲の花束」としてピアノソロ、チェロとのデュオで公演。音楽教室講師、声楽、合唱団のピアニストとしても活動。これまでに、ピアノを金井紀子、北川正、本多昌子、吉田俊子の各氏に師事。



クリストフ・エーレンフェルナー (作曲、ヴァイオリン)
Christoph Ehrenfellner

ヴァイオリニスト、作曲家、指揮者として活動。2016 年から 2019 年までノルトハウゼン歌劇場(独)に招聘され、同歌劇場で指揮、ヴァイオリン演奏に加え、交響曲(第一作目)、バレエ音楽(第一作目)、オペラ(第三作目)を作曲。2019 年の予定として、既にマインフランケン歌劇場(独)、チロル・オペラフェスティバル(独)、リスト・ビエンナーレ音楽祭(独)などへの参加が決まっている。また、スイス・小澤征爾アカデミーの招聘作曲家でもあり、各地の音楽祭などでも活躍している。

常に欧州の第一線で活動しており、ニューヨーク・タイムズ(米)など、各国主要紙が高い評価を与えている。指揮者として定期的に、ザルツブルグ・モーツァルテウム管弦楽団などに招聘されている。ウィーン楽友協会主催のユース・オーケストラ・フェスティバルの審査員に加え、大学では教鞭もとっている。2017 年にはノルトハウゼン歌劇場管弦楽団、クラスノヤルスク室内管弦楽団、メキシコ・シティフィルでヴァイオリン独奏を行っている。日塊文化協会の名誉会員でもあり、彼の著作「芸術とお金」はザールブリュッケン社(独)から出版されている。



ヘルベルト・ミュラー (ヴァイオリン) Herbert Mueller

1957 年ウィーンに生まれる。1981 年ウィーンコンセルヴァトリウム音楽大学を首席で卒業、その後ウィーン音楽大学にてジークフリート・フュリンガー教授に師事。1980 年よりウィーン交響楽団に所属。1986 年首席ソロヴァイオリン奏者となり、これまでにラファエル・フリュベック・デ・ブルゴス、レオポルト・ハーガー、ウルフ・シルマー、ペーター・ギューケ、ファビオ・ルイーダ、フィリップ・ジョルダンをはじめとする指揮者たちと共演。ポーランド、エジプト、ウクライナ、ポルトガルなどを頻りに訪れ、ソロ奏者としても国際的に活躍している。

室内楽への取り組みも熱心で、長年に亘りグリンカ・アレンコフ・カルテットや、ウルフ・ヴァリンが首席ヴァイオリンを務めるウィーン・コンセルティノ室内楽団とともに、トリオからオクテットまで幅広く演奏。ウィーン・コンセルティノ室内楽団とはオーストリア国内外の音楽祭(ブレゲンツ音楽祭、エンガディン音楽祭、ワロニア・フェスティバルなど)にも参加し、ヨーロッパ各国・アメリカへのツアーを行った。近年ではクレス・ミュラー・スコッチ弦楽トリオ、ウィーン・東京カルテットで活躍し、スイスと日本でレコーディングを行った。1992 年から 1994 年まではウィーン音楽大学にて師匠フュリンガー教授の助手を務め、1994 年現職ウィーンコンセルヴァトリウム音楽大学教授に就任。



上村 文乃 (チェロ)

6 歳よりチェロをはじめ、第 2 回泉の森ジュニアチェロコンクール小学生部門銀賞。第 4 回 泉の森ジュニアチェロコンクール中学生部門銀賞。第 7 回日本演奏家コンクール弦楽器中学生部門 1 位 及び芸術賞。第 15 回日本クラシック音楽コンクール全国大会中学生部門にて最高位。第 5 回東京音楽コンクール弦楽器部門第 2 位。第 4 回ルーマニア国際音楽コンクール弦楽器部門第 1 位およびブルー マニア大使館賞受賞。

第 80 回日本音楽コンクール第 2 位、同年 第 65 回全日本学生音楽コンクール大学の部第 1 位および日本放送協会賞受賞。イタリアレヴィエール国際コンクール第 1 位。ジョルジュ・エネスコ国際コンクールおよびエリザベト王妃国際コンクールセミファイナリスト。

オーケストラとは、飯守泰次郎氏指揮・東京シ・ティ・フィルハーモニック管弦楽団、小林研一郎氏指揮・東京フィルハーモニー交響楽団、工藤幸氏指揮・群馬交響楽団、下野竜也氏指揮・読売交響楽団、高関健指揮・静岡交響楽団、フランク・ブレイ指揮・ワロン王立室内オーケストラ等と共演。2015 年第 50 回記念 MBC ユースオーケストラ定期演奏会にソリストとして出演した際、ドキュメンタリー番組が作成されテレビ放送される。深澤亮子氏、徳永二男氏、榎本大進氏等の著名な演奏家と室内楽を共演。

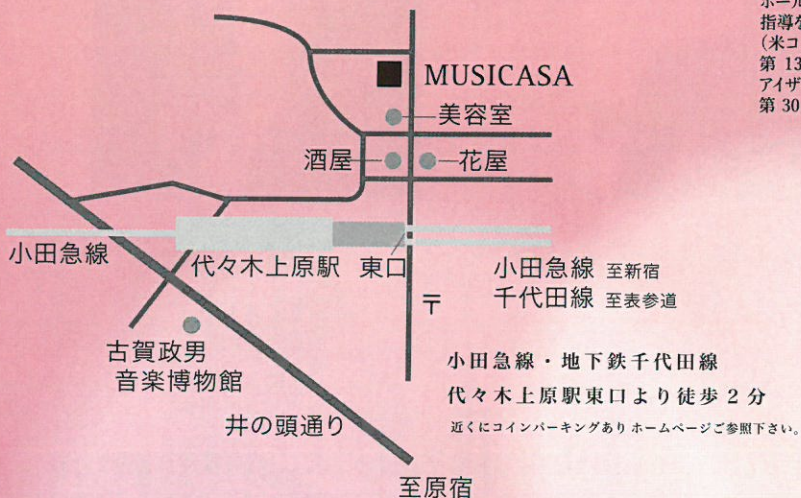
また、プロジェクト Q、軽井沢八月祭、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、北九州音楽祭、仙台クラシックフェスティバル、鎌倉芸術館・グロステン、JT アートホール室内楽シリーズ、Cello Biennale(アムステルダム)等に出演。TV 朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「クラシックサロン」「リサイタル・ノヴァ」等に出演。

フランツ・ヘルマソン、ゲイリー・ホフマン、ウォルフガング・エマニュエル・シュミット、鈴木秀美、石坂田十郎、アンシ・カルトウネン各氏のマスタークラスを受講。2010-2011 年サントリーホール室内楽アカデミー第 1 期生となり、レオン・フライシャー、メナヘム・プレスラーなどの指導を受ける。いしかわミュージックアカデミーにて IMA 音楽賞受賞し、翌年アスペン音楽祭(米コロラド州)に奨学生として参加。

第 13,14,15 回宮崎国際音楽祭マスタークラスにて 優秀賞を受賞、宮崎県県立劇場アイザックスターンホールにてライジングスターコンサートに出演。

第 30 回霧島国際音楽祭に奨学生として参加し、霧島国際音楽賞を受賞。

Access



MUSICASA

〒151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1

Tel.03-5454-0054

<http://www.musicasa.co.jp>